

## 中学生による英語での日本紹介 ——日光東照宮を案内する活動の実践から——

東 仁 美

### 抄 録

---

葛飾区教育委員会は、2015年度から栃木県日光市にある区の宿泊施設で1泊2日の中学生対象イングリッシュキャンプを実施している。2016年度のキャンプでは、宿泊施設に近い日光東照宮を散策し、英語でALTを案内することが主な活動であった。本稿では、「葛飾区イングリッシュキャンプ」のプログラムについて報告し、宿泊型研修での観光地案内の実践を通して、参加生徒がどのような力をつけたかを検証する。

---

キーワード：英語キャンプ，英語での日本紹介，協働学習

### 1. はじめに

東京都葛飾区は、「地元意識が強く地域でのまとまりがあり、コミュニケーションが取りやすい」という特性を生かし、区民総ぐるみで「教育＝人づくり」を進めている。2014年度には葛飾区のエド育行政の方向性と重点施策を示した「かつしか教育プラン2014」を策定した。この教育振興基本計画には「子どもがいきいき学ぶ，教育環境づくりを推進」という基本方針がある。この教育環境づくりの取り組みの一つとして、2015年度から小学6年生を対象とした日光移動教室にALTを1日同行させて英会話を体験する活動や、中学1，2年生の希望者を対象とした英語宿泊学習「葛飾区イングリッシュキャンプ」を実施している。また、2016年度からは中学2年生を対象とした「中学生海外派遣」を開始した（葛飾区教育委員会，2014）。

「葛飾区イングリッシュキャンプ」は、英語によるコミュニケーション能力と、他者と協調しながら課題を解決する能力の育成を図ることを目的としている。2015年度のキャンプでは、7月下旬に1泊2日のメインキャンプ、7月上旬にプレキャンプ、10月上旬にポストキャンプをおこなった。中学校長会と事務局で構成する「海外派遣等推進委員会」での成果の検証では、参加生徒や保護者からのアンケート結果からイングリッシュキャンプの目的は概ね達成できたという報告がなされ

た。一方、課題としてプレキャンプの充実とメインキャンプの活動の質向上が挙げられた（葛飾区教育委員会，2016）。

筆者は、アドバイザーとしてこのイングリッシュキャンプのプログラム開発を担当してきた（東，2016）。2016 年度のキャンプでは、課題とされたメインキャンプの活動を見直すために、イングリッシュキャンプのプログラム改善に向けた作業部会を開催し、初年度のキャンプに参加した教員の意見を集約した結果、レッスングループごとに日光東照宮を散策し、グループ担当の ALT を英語で案内する活動をキャンプの中心に置くことにした。

## 2. 2016 年度葛飾区イングリッシュキャンプの概要

### 2.1 プログラム改善に向けた作業部会

2015 年度に実施されたイングリッシュキャンプには、新採用の英語科教員 11 名が初任者研修として参加した。キャンプ実施後、2016 年 1 月と 2 月にプログラム等の改善に向けた作業部会が 2 回開催された。本部役員として、キャンプの団長・副団長、アドバイザー、引率教員のリーダーが参加し、キャンプに参加した初任の教員が作業部員として 2016 年度のレッスンプログラムの原案を作成した。作業部会では、イングリッシュキャンプの目的を再確認し、2 日間英語で生活することを柱とした活動計画が検討され、様々な提案の中から、以下の 3 点を改善点として決定した。

1. メインキャンプを充実させるためにプレキャンプを 2 回実施する
2. メインキャンプでは日光東照宮散策を実施する
3. まとめの発表活動はポストキャンプでおこなう

2016 年度の参加者は中 1 が 20 名、中 2 が 28 名で、これを中 1 は 5 名、中 2 は 7 名のレッスングループに分け、各グループを英語科教員 1 名と ALT1 名が担当した。プレキャンプ、ポストキャンプを含めて、指導者はキャンプ期間中日本語を一切使わずに指導した。以下は 2016 年度の実施日程である

表 1 2016 年度葛飾区イングリッシュキャンプのスケジュール

	日 時	場 所
プレキャンプ 1	6 月 11 日（土）14：00～16：00	葛飾区総合教育センター
プレキャンプ 2	7 月 9 日（土）14：00～16：00	葛飾区総合教育センター
メインキャンプ	7 月 28 日（木）～29 日（金）	葛飾区日光林間学校
ポストキャンプ	10 月 15 日（土）14：00～16：00	葛飾区男女平等推進センター

### 2.2 プレキャンプ

前年度のキャンプ後に実施した参加生徒・保護者のアンケートでは、メインキャンプの日数を増

やしてほしいという要望が21件（参加生徒7件，保護者14件）出されていたが，引率できる教員の確保，夏休み期間の部活動の日程，教育委員会の運営負担などを考慮し（東，2016），2016年度も1泊2日での開催となった。メインキャンプの研修を補うための方策として，プレキャンプの回数を1回増やし，事前学習をより充実させることにした。プレキャンプは，区立中学校が离校日となる月に1度の「葛飾教育の日」（土曜授業日）が当てられ，参加生徒は下校後，2時間のプレキャンプに参加した。

プレキャンプ1では，全員参加のアイスブレイキングゲームやレッスングループごとの自己紹介をおこなった。英語でスムーズに自己紹介ができるように英語表現集を配付し，使いたい表現には付箋紙を貼るよう指導した。

プレキャンプ1の最後には，メインキャンプのプログラムを説明した後，振り返りのワークシートを使い自分の英語力について，以下の4項目で4段階の自己評価をおこなった。

1. 自分のことについて話すこと
2. ALT や JTE の英語を聞くこと
3. 英語表現集の英文を読むこと
4. 英語を使うことへの慣れ

そして，この自己評価をもとに，イングリッシュキャンプでの目標を各自で設定した（資料1）。参加生徒が掲げた目標のいくつかを抜粋して紹介すると，「自信を持って ALT やみんなの前で自己紹介や相手に質問ができるようにしたい」（中1男子），「あまり英語は上手に話すことができないので，友だちや先生の手助けがなくても話せるようにしたい」（中1女子），「英語をすらすらと話すことができ，ALT と会話ができるようになる」（中2男子），「英語を使って友だちをたくさんつくり，もっと英語を好きになること」など，全員が自分の目標を文章にすることができた。また，ALT に聞きたいことをワークシートに書いて提出させ，プレキャンプ2で渡す英語表現集の「ALT と会話をする」の項目に掲載し，活動の中で使いたい表現をすぐに探せるようにした。プレキャンプ2までの宿題として，自己紹介ゲームで使うカードを作ってくることを課した。

プレキャンプ2では，アイスブレイキングゲームとして，10人と話す自己紹介ゲームをおこなった。学年や男女を問わず，お互いに自己紹介をする活動は効果的なウォームアップとなった。グループ活動では，グループの ALT に質問をするなど全員で協力して，ALT の紹介文を作成した。そして，学年に分かれて，グループごとに英語で ALT の紹介をした。後半は，筆者が英語で日光東照宮の紹介をした後，グループで ALT に案内したい場所を決め，日光東照宮散策の計画を立てた（資料2）。

プレキャンプ2の振り返りでは，活動の中で積極的に英語を話せたかを4段階で自己評価した。参加生徒が，自身の活動の様子をよく振り返っていることが自由記入からうかがえる。「なんといいえばいいか分からなかった」（中1男子），「プレキャンプ1よりも積極的に話せてよかった！」（中1女子），「自分で考えながら会話することができた」（中2男子），「聞きとることはできたけど，話す方は1つ1つの単語しか言えない」（中2女子）など，英語でのコミュニケーションに慣れて

きた生徒となかなか英語で話せない生徒がいることがわかる。

ワークシートの最後には、「活動の中で、英語でうまく言えなかったことをできるだけたくさん書き出してください」という項目を入れた。提出されたワークシートを点検し、書き出された表現には英語での表現を書き入れ、メインキャンプで返却した。「英語でうまく言えなかったこと」の中には、「日光東照宮に行ったことはありますか」「ステイーブン先生、三猿の小屋の中には白い馬がいるんですよ」「たくさんの人がおみずやおとずれる」「御水舎で何をするか」「東照宮の散策の計画で、自分が知っている東照宮のことを英語でうまく言えなかった」「東照宮の家康の墓までの行き方」「鳴き龍の説明の時に、英語でうまくみんなに伝えることができなかった」「鳴き龍を体験した時のことを英語で言えなかった」(原文ママ)など日光東照宮の案内に必要な表現が言えなかったという記述も多く見られた。参加生徒は小学校6年生の日光林間学校の際に調べ学習をして、日光東照宮を訪れている。日光東照宮に関する知識があり、ここを案内したいというポイントも明確であるが、英語でうまく言えなかったということが上記の記述内容からうかがえる。英語でうまく言えなかった表現のうち、他の生徒にも役立つような英文は、英語表現集にも掲載し、メインキャンプ初日に配付した。

## 2.3 メインキャンプ

葛飾区から栃木県日光市まで移動に3時間ほどかかるため、メインキャンプでの実際の活動時間はほぼ1日となる。少しでも多く活動の機会を確保するため、宿泊型研修のメリットを生かして、中学生が英語を使うことに慣れるための活動を工夫した(資料3)。以下、活動ごとに内容を詳説する。

### (1) 日光東照宮の散策

プレキャンプでの事前学習では、グループごとに散策のスケジュールやALTに説明する内容について英文を準備した。そして、英語表現集には「日光東照宮の英語表現」のリストを2ページ設けた(資料4)。既習語彙が限られている中1については、東照宮の有名な観光ポイントである三猿(the three monkeys)、眠り猫(the sleeping cat)、鳴き龍(Crying Dragon)だけでも英語で説明できるように準備をした。宿舎から東照宮まで片道20分歩くのだが、ALTが歩きながらできるクイズなどを工夫して、終始英語で会話をしているグループも見られた。プレキャンプ2のグループ活動で「ALTに説明すること」として中2の生徒が作った英文を以下に紹介する。

Toshogu is a World Heritage. We wash our hands at the Water House. The cat and the sparrows are friends. They live in peace. It cost 40 billion yen to build Toshogu Shrine.

東照宮に出かける前のグループ活動の時間に、案内する英文を練習した。中1では英単語を読むこ

とに慣れていないため、書き写したものをすらすらと読むことができない生徒も見受けられた。昨年度のキャンプでは中1と中2で活動内容に難易度をつけたが、今回の東照宮散策では、同じプログラムで動いたので、東照宮を英語で説明する活動では学年での達成度の差が大きかったようである。学外活動の前に、グループの団結を高めるために英語でグループ名を決め、グループ名やイラストを入れた旗を作った。

#### (2) World Bazaar

世界遺産である日光東照宮を ALT に案内したので、宿舎に戻ってからは ALT が出身国の世界遺産や観光地を紹介する活動をおこなった。8名の ALT の出身国は、アメリカ (3名)、イギリス (2名)、カナダ (1名)、オーストラリア (1名)、ジンバブエ (1名) であった。ALT はタブレットや拡大した写真、地図などを使い、工夫を凝らした国紹介を準備していた。生徒は、グループごとに ALT がいるポイントを回り、説明を受けた。日光東照宮散策で疲れ、生徒の集中力が低かったことが大変残念であった。スケジュールの組み方に工夫が必要であることが反省点として出された。

#### (3) レクリエーション

今年からの新しい試みで、外国語活動に積極的に取り組んでいる区内の小学校の教員3名が食事・保健、風呂、レクリエーションなどの生活面での指導担当としてキャンプに参加し、体育館での夜のレクリエーションの企画・運営も担当した。簡単な英語を使ったゲーム、グループ対抗のダンスパフォーマンスや二人三脚などの説明は全て英語でおこない、楽しい時間を過ごすことができた。レクリエーションの時間を通して、グループの結束が図れたようである。

#### (4) Diary Writing

夜の自習時間に英語日記を書く活動も今年から取り入れたものである。学年ごとに分かれて、1日を振り返り、英語で感想を書いた。グループ担当の英語科教員が添削をして、書いた日記を生徒が英語で読めるように指導した。英語表現集には、「9. イングリッシュキャンプについて感想を述べる」の項で20の例文を提示した。キャンプ2日目の朝のグループ活動では Diary Reading の時間を設け、日記の発表をした。

#### (5) Presentation

グループでイングリッシュキャンプを紹介する発表を準備して、学年ごとにリハーサルをおこなった。昨年度はメインキャンプ2日目に本発表をしたため、キャンプ全体が発表の準備のための活動になってしまったという指摘があった。作業部会で検討した結果、グループ発表はポストキャンプでおこなうことになったため、今回のメインキャンプでは、発表の準備に十分な時間を取ることができた。学年ごとのリハーサルでは、他のグループの発表を聞いて、かなり刺激を受けたグループもあったことが報告された。

### 3. 英語での日光東照宮ガイド

#### 3.1 中学校英語科の教科書での日本紹介

中学校学習指導要領外国語編では、「3 指導計画の作成と内容の取扱い」の中で、教材について「英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活、風俗、習慣、物語、地理、歴史、伝統文化や自然科学などに関するものの中から、生徒の発達の段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるもの」(文部科学省, 2008, p. 72)としている。それでは、生徒の発達の段階及び興味・関心に即した日本紹介の題材とはどのようなものであるか、中学校英語科の検定教科書で扱われている日本紹介の単元を一覧にまとめる。

平成 28 年度版の検定教科書では、検証した 6 社全ての中 3 の教科書で何らかの日本紹介を扱った単元があることがわかった。文部科学省 (2008) によると、教材を選定する際に配慮する観点として、「外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てることに役立つこと」(p. 72)を挙げている。イングリッシュキャンプでの日光東照宮の紹介においても扱う教材が適切であるか、また参加者が日光東照宮について理解を深め、関心を高めることを念頭に置く必要がある。前述の通り、葛飾区立小学校では、6 年

表 2 中学校教科書での日本紹介の事例

教科書名	単元	内容
COLUMBUS 21 English Course 3	Go for it 1 修学旅行新聞を作ろう	修学旅行で訪れた場所についての体験や感想を書いた記事を読み、自分の体験や感想を含めて具体的に書く。
NEW CROWN English Series 3	Project 2 日本文化を紹介しよう	自国の文化についての文を書き、絵や写真を見せながら Show & Tell で紹介する。
NEW HORIZEN English Course 3	Presentation 1, 2 日本文化紹介・修学旅行	日本文化(有田焼や着物など)や修学旅行(京都金閣寺など)について 5 文以上の英文を書き、発表する。
ONE WORLD English Course 3	Lesson 2 A School Trip to Kyoto	修学旅行で訪れた京都での課題解決学習で老舗料亭を訪れる文章を読み、日本料理について学ぶ。
Sunshine English Course 3	Lesson 5 Volcanoes in Japan	名所や史跡についての紹介文を読み、印象に残った観光名所とそこまでの体験について短文にまとめる。
TOTAL ENGLISH 2	Book Project 観光パンフレットを作ろう	グループで自分たちが住んでいる町の魅力を伝える観光パンフレットを作成する。
TOTAL ENGLISH 3	Chapter 1 Project 日本の伝統文化を紹介しよう	日本の伝統文化について 3~4 文程度の紹介文を書き、その内容をグループのみんなの前で発表する。

生の日光林間学校で日光東照宮について学習している。プレキャンプを通して親しくなったグループのALTに日光東照宮のことを説明したい、という意欲を持って、メインキャンプでの英語での案内に臨んだ生徒が多く観察された。中1の生徒に対しては、もう少し簡単な表現で紹介できるような工夫が望まれる。

### 3.2 日光東照宮を英語で案内するための準備

中学生による日光東照宮散策を成功させるために、指導者である中学校英語科教員との打ち合わせの際に日光東照宮の英語資料を配付した。日光東照宮の概観、歴史、三猿、陽明門、唐門、眠り猫、奥社、鳴き籠などについて筆者が英語でまとめたものを指導者は事前に目を通して、簡単な英語で説明できるようにした。

また、打ち合わせでは、宿泊研修での英語学習で期待できる成果について再確認をおこない、続いて、第二言語習得理論から見るイングリッシュキャンプ指導のポイントについて、「インプット仮説」、「情意フィルター仮説」、「曖昧さ耐性」などを取り上げて解説をした。そして、Teacher talk, Non-verbal communication, 視聴覚教材の活用をイングリッシュキャンプでの指導に取り入れることを示した。

プレキャンプ2では、下見の際に筆者が撮影してきた写真をパワーポイントで示しながら、中学生に英語で日光東照宮を紹介し、グループごとに日光東照宮を散策しながら、ALTに英語で観光スポットを案内するということを説明した。その後、グループに分かれて散策の計画を立てたが、中1のクラスでは、ALTに説明する英文を全員で声を合わせて練習するグループもあり、また、案内する観光スポットを分担し、順番に説明する中2のグループもあった。

### 3.3 日光東照宮での活動に関する参加生徒のフィードバック

葛飾区教育委員会はメインキャンプ終了後、9月の新学期開始時に参加生徒・保護者へのアンケート調査を実施した。質問項目は、以下の4つである。

1. キャンプを終えて、「英語をもっと学びたい」と思うようになったか
2. キャンプを通して、「自分の英語力が高まった」と感じるか
3. キャンプを通して、「仲間と協力する力が高まった」と感じるか
4. もう一度キャンプに参加できるとするなら、参加したいと思うか

本稿では、英語での日本紹介のプログラム改善の手立てとして、2、3の項目での回答から日光東照宮散策に関する記述を抽出し、英語での日本紹介を通してどのような力をつけたかを考察していく。

まず、2の「キャンプを通して『自分の英語力が高まった』と感じるか」の質問に対して、日光東照宮散策に関しては、「キャンプで自分の意見を言ったり、相手の意見を知りたいときに、英語

を使い英語にたくさん触れました。事前に家で日光についてカードにまとめたり、日光東照宮に行くと、ALTの先生に説明する事ができたとき、英語力が高まったと感じました」(中2女子)、「日光の三猿や眠り猫の名前などが英語でも言えるようになりました」(中2女子)、「ALTの先生に日光東照宮を案内したこと(で英語力が高まったと感じた)」(中2男子)などの記載があった。

次に、3の「キャンプを通して、『仲間と協力する力が高まった』と感じるか」の質問については、「日光の行動班では、互いに英語を分からなかったところは教え合いをした。イングリッシュキャンプで作ったまとめのポスターでたくさんのアイデアを出したように、学校の行事でクラスで考えを出す時(仲間と協力する力が高まったと感じた)」(中1女子)、「班行動をするときに分からないことがあったら聞きあったり、一緒に考えたりすることができて、そんな時、協力する力が高まったなと思いました」(中2女子)、「プレキャンプでは消極的に見えましたが、グループワークの東照宮の散策もうまく出来たと。帰りにはグループのお友達と話をしたりしていたのでそう感じました」(中1男子保護者)などの記載から、日光東照宮について英語で説明する際にグループでの協働学習がおこなわれていたと考えられる。

### 3.4 英語での日本文化発信

葛飾区イングリッシュキャンプでの日光東照宮紹介の内容は、6社の検定教科書で取り扱う日本紹介の内容と比べると言語材料、情報の内容共に難易度が高かったことがわかる。特に中1の参加者にとっては1学期が終了した段階での参加であったため、学校の授業では三人称単数現在のsについてもまだ習っていない状態であった。日光東照宮の英語での説明には過去形、現在完了形、受け身形などで表現される文章もあり、言語材料だけを考えると学校での既習事項とかけ離れていることが指摘されるであろう。ただ、少人数でのグループ活動、英語科教員とALTが各グループに1名ずつ配置される体制で、2日間英語漬けの状態での活動であるため、参加生徒の情意面での負担感には特に報告されていない。前述のアンケートでの「もう一度キャンプに参加できるとするなら、参加したいと思うか」の質問に対して、中1の参加生徒・保護者全員が「参加したい」「どちらと言えれば参加したい」と回答している。

また、日光東照宮散策活動の後、メインキャンプ2日目にグループごとにキャンプを振り返る活動をした。ポストキャンプでの発表で、日光東照宮をALTに紹介したことを取り上げたグループも多く、実際の案内の際にはうまく言えなかったことをポストキャンプでの発表の中で再現し、やり直しのできたことも参加生徒の達成感につながったと考えられる。

ポストキャンプでのグループ発表は、学年ごとにおこない、1年生の各グループの発表を2年生がグループ単位で見学する、という形を取った。参加生徒の保護者も約30名がグループ発表を見学した。10名程の観客に対する発表を続けておこなう中で、発表が徐々に上達し、4回目の発表では「声の大きさ」、「発表態度」、「聞きやすい英語」のどの点においてもよい発表ができるようになった。

#### 4. おわりに

本稿では、葛飾区イングリッシュキャンプの取り組みを報告し、ALTを日光東照宮に案内する活動を中心にその学習内容と成果、課題を考察した。中学生に英語を使う必要性を示すとともに、仲間と協働しながら英語で伝えることに取り組む場としてのイングリッシュキャンプの成果が確認されたと同時に、次年度に向けては使用する英語の難易度についての更なる検討が必要であることも課題として挙げられた。

文部科学省が策定した「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」（文部科学省，2013）を受けて英語教育の改革が進められている中、英語によるコミュニケーション能力育成の一環として、各自治体、民間企業によるイングリッシュキャンプの実施に注目が集まっている。より充実したイングリッシュキャンプのプログラム開発に向けて、今後も研究を続けていきたい。

#### 謝辞

本稿執筆にあたり、葛飾区教育委員会指導室から参加生徒・保護者のアンケート結果の提供及び貴重なご意見とご助言をいただきました。心から御礼申し上げます。

#### 参考文献

- 開隆堂出版（2016）. 「Sunshine English Course 3年間指導計画（例）」  
[http://www.kairyudo.co.jp/contents/02\\_chu/eigo/h28/h28nenkei-hyoka3.pdf](http://www.kairyudo.co.jp/contents/02_chu/eigo/h28/h28nenkei-hyoka3.pdf)
- 学校図書（2016）. 「TOTAL English 年間指導計画」  
[http://www.gakuto.co.jp/h28/hieigo/pdf/h28hieigo\\_47-55.pdf](http://www.gakuto.co.jp/h28/hieigo/pdf/h28hieigo_47-55.pdf)
- 葛飾区教育委員会（2014）. 「かつしか教育プラン 2014 概要」  
[http://www.city.katsushika.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/006/145/gaiyou.pdf](http://www.city.katsushika.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/145/gaiyou.pdf)
- 葛飾区教育委員会（2016）. 「平成 27 年教育委員会第 11 回定例会会議録」  
[http://www.city.katsushika.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/010/103/271110.pdf](http://www.city.katsushika.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/103/271110.pdf)
- 教育出版（2016）. 「検討の観点と内容の特色」  
[http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/h28chugaku/eigo/pdf/h28\\_eigo\\_kanten.pdf](http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/h28chugaku/eigo/pdf/h28_eigo_kanten.pdf)
- 三省堂（2016）. 「年間指導計画」  
<http://tb.sanseido.co.jp/english/newcrown/PlanData/SidoData.html>
- 東京書籍（2016）. 「指導・学習内容一覧」  
[https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/files/shidou\\_eigo.pdf](https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/chu/eigo/files/shidou_eigo.pdf)
- 東仁美（2016）. 「英語を使うことに慣れる場としての英語キャンプ—葛飾区イングリッシュキャンプの実践から—」『聖学院大学論叢 第 28 号 第 2 号』 pp. 103-118
- 光村図書出版（2016）. 「単元系統一覧表」  
[http://www.mitsumura-tosho.co.jp/28ckyokasho/download/eigo/28e\\_tangen.pdf](http://www.mitsumura-tosho.co.jp/28ckyokasho/download/eigo/28e_tangen.pdf)
- 文部科学省（2008）. 『中学校学習指導要領解説 外国語編』 開隆堂出版

文部科学省 (2013). 「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/25/12/\\_icsFiles/afieldfile/2013/12/17/1342458\\_01\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/25/12/_icsFiles/afieldfile/2013/12/17/1342458_01_1.pdf)

〈参照した URL は全て 2016. 11. 17 確認〉

## 資料 1

### プレキャンプ①の振り返りとイングリッシュキャンプの目標設定

6 月 11 日 (土)

1. プレキャンプの活動を振り返り、自分の英語力について当てはまるものに丸をしましょう。

#### 【自分のことについて話すこと】

- (1) 自分のことについて単語でうまく言えない
- (2) 自分のことについて単語でうまく言える
- (3) 自分のことについて文章ではっきり言える
- (4) 自分のことについてはっきり言え、友だちや ALT にも文章で質問ができる

#### 【ALT や JTE の英語を聞くこと】

- (1) あまりよくわからない
- (2) ゆっくり話されたり、友だちや先生の助けがあったりすればわかる
- (3) ALT や JTE が言うことの大切ところは聞き取れる
- (4) ALT や JTE が言うことがだいたいわかる

#### 【英語表現集の英文を読むこと】

- (1) 声に出して英文を読むことがあまりうまくできない
- (2) ALT や JTE がゆっくり読んでくれたら、英文をだいたい読むことができる
- (3) 自分で英文を目で追いながら、ゆっくり読むことができる
- (4) 書いてある英文がすらすら読める

#### 【英語を使うことへの慣れ】

- (1) 英語表現集があっても、英語を声に出してうまく言えない
- (2) 英語表現集があれば、英語を使ってはっきりと話せる
- (3) 英語表現集の英語を自分で応用して使える
- (4) 英語表現集を見なくても自分の言葉で相手に伝える工夫や努力ができる

2. 英語力の自己評価をもとに、イングリッシュキャンプでの自分の目標を書きましょう。

ALT に聞きたいことをリストしましょう。(英語で書ける人は英語で書いてみましょう)



資料 3

葛飾区イングリッシュキャンプ メインキャンプ・スケジュール概要			
7 月 27 日 (木)		7 月 28 日 (金)	
8:00	葛飾区役所前 集合・出発 バスでのレクリエーション	6:00	起床
11:00	葛飾区日光林間学校 到着 開校式	6:30	朝の活動 英語でラジオ体操 全体レク
12:00	昼食	7:30	朝食
13:00	研修開始 グループ活動 旗作り 東照宮散策の準備	8:30	研修開始 グループ活動 Diary Reading ポストキャンプでの発表準備
13:30	日光東照宮散策 グループごとに観光案内	11:00	発表のリハーサル (学年ごと) 閉校式
16:00	World Bazaar ALT による出身国の世界遺産紹介	12:15	宿舎出発
17:00	夕食準備・入浴	13:00	土産店で昼食, 買い物
18:00	夕食		
19:00	Recreation 体育館で全体レク	14:00	出発
20:30	Diary Writing 学年ごとに英語で日記作成	17:00	葛飾区役所前 到着
22:00	就寝		解散式

資料 4

8. 日光東照宮の英語表現

『キャンプで役立つ英語表現集』より

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> <i>Nikko Toshogu Shrine</i> 日光東照宮                                  | <input type="checkbox"/> World Heritage 世界遺産      |
| <input type="checkbox"/> Water House ( <i>Omizuya</i> ) 御水舎                                 | <input type="checkbox"/> <i>Yoei-mon Gate</i> 陽明門 |
| <input type="checkbox"/> Crying Dragon 鳴き龍  | <input type="checkbox"/> under construction 修理中   |
| <input type="checkbox"/> carvings 彫刻 (特に木彫り)  | <input type="checkbox"/> the sleeping cat 眠り猫     |
| <input type="checkbox"/> sparrow つばめ  | <input type="checkbox"/> Inner Shrine 奥社          |
| <input type="checkbox"/> tomb 墓   | <input type="checkbox"/> the three monkeys 三猿     |
| <input type="checkbox"/> See no evil, hear no evil, speak no evil.                          | 見ざる, 聞かざる, 言わざる                                   |
| <input type="checkbox"/> Let's go to <i>Nikko Toshogu Shrine</i> .                          | 東照宮に行きましょう  |
| <input type="checkbox"/> <i>Toshogu</i> is the World Heritage.                              | 東照宮は世界遺産です  |
| <input type="checkbox"/> What do you want to see in <i>Toshogu Shrine</i> ?                 | 東照宮のどこを見たいですか                                     |
| <input type="checkbox"/> The three monkeys are very famous.                                 | 三猿はとても有名です  |
| <input type="checkbox"/> We wash hands at the Water House.                                  | 御水舎で手を洗います  |
| <input type="checkbox"/> The <i>Yomei-mon Gate</i> is the symbol of <i>Toshogu Shrine</i> . | 陽明門は東照宮のシンボル                                      |
| <input type="checkbox"/> There are more than 500 carvings on the gate.                      | 500 以上の彫刻があります                                    |
| <input type="checkbox"/> Please look at the sleeping cat.                                   | 眠り猫を見てください  |
| <input type="checkbox"/> This is the most famous sculpture in <i>Toshogu Shrine</i> .       | これは東照宮で一番有名な彫刻です                                  |
| <input type="checkbox"/> The cat and the sparrows are friends. They are in peace.           | 眠り猫とつばめが仲良く過ごしていることは平和の象徴です                       |
| <input type="checkbox"/> There are 207 steps to the tomb of <i>Ieyasu</i> .                 | 家康の墓まで階段が 207 段あります                               |
| <input type="checkbox"/> Look at the ceiling. You can see <i>Nakiryu</i> , Crying Dragon.   | 天井には鳴き龍がいます                                       |
| <input type="checkbox"/> The echo sounds like a crying dragon.                              | 拍子木の音は龍が鳴いているように聞こえます                             |
| <input type="checkbox"/> It took 17 months to build <i>Toshogu Shrine</i> .                 | 東照宮の建設には 1 年 5 ヶ月かかりました                           |
| <input type="checkbox"/> It cost 40 billion yen to build <i>Toshogu Shrine</i> .            | 東照宮の総工費は今の 400 億円に相当します                           |
| <input type="checkbox"/> Did you enjoy the walking tour?                                    | 東照宮ツアーは楽しかったですか                                   |

A Report on Activities for Junior High School Students:  
as Guides to *Nikko Toshogu Shrine*

Hitomi HIGASHI

Abstract

---

A two-day English camp for junior high school students has been held by the Katsushika Board of Education since 2015. The author of this paper has developed the programs for this English camp held in Nikko, Tochigi Prefecture. The main activity for this year's camp was to guide ALTs to Nikko Toshogu Shrine, which is a World Heritage Site. This paper intends to examine the activities introducing one of the most famous sight-seeing spots in the Kanto area and offer suggestions for designing a curriculum for junior high school students to introduce the Japanese culture in English.

---

**Key words:** Introducing Japanese culture in English, collaborative learning, English immersion camp